



10月29日 全町運動会に参加したよ！

10月29日（日）、朝から強い風が時より吹くという秋晴れの清々しい天候のもと、加茂谷中学校のグラウンドにおいて全町運動会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、4年ぶりの開催となりました。幼稚園のみなさん、小学生のみなさん、中学生のみなさん、加茂谷地域のみなさんの心を一つにして開催することができました。

今回の全町運動会のスローガンは「つながる加茂谷！！楽しむ全町運動会」でした。このスローガンは、加茂谷中学校の3年生が考えたものです。

全町運動会を迎えるにあたり、加茂谷スポーツ協会のみなさまや全町運動会実行委員のみなさまには、当日の運営はもちろん、事前の打合せ会や当日に向けての準備、さらに、前日準備と大変お世話になりました。みなさま方のご尽力により、全町運動会が開催することができたことに感謝いたします。ありがとうございました。

全町運動会では、小学生は、「徒競走」、「紅白まり入れ」、「晴れたらいいね（靴とばし）」、「養老の滝」の種目に参加しました。

「プログラム3番：徒競走」では、1年生から6年生までの子どもたちが、学年ごとにトラックを半周程度走りました。学年ごとに一人ずつ名前を呼ばれ、元気よく返事をしてゴールをめざして最後まで一生懸命走る姿が見られました。

「プログラム11番：紅白まり入れ」では、赤・青・黄の3つのグループに分かれて行いました。制限時間は約30秒でしたが、それぞれに玉をしっかり握って、かごをねらって投げていました。

「プログラム18番：晴れたらいいね（靴とばし）」では、スタート場所に並んで、スタートのかけ声を聞いて一斉にカー杯靴をとばしていました。靴をとばすのは、なかなか自分のイメージしたように遠くまでとばすことができなかった子どもたちの姿がたくさん見られました。

「プログラム19番：養老の滝」では、5、6年生が参加しました。小学生のチームと中学生のチーム、一般のチームにわかれて競技をしました。バケツの水を湯飲みにすくって、少し離れた場所にあるビンがいっぱいになるまで水を繰り返し運んで、注いでいく競技です。水をできるだけこぼさずに移動しながらビンに注ぐのは、大変難しそうでした。その中で、6年生チームが1位に、5年生チームが4位になりました。

閉会式では、6年生の児童代表が、「これで、加茂谷地区全町運動会の閉会式を終わります」という閉会のことばを堂々と加茂谷地域の人たちの前で言って、全町運動会を無事に終了することができました。

＜少しですが、全町運動会の様子を紹介します。＞



＜片山大会長さんのお話＞



＜開会式で全員が並んでいる様子＞



＜小学生の徒競走の様子＞



＜紅白まり入れの様子＞



＜晴れたらいいね（靴とばし）＞



＜養老の滝の様子＞

